

多くのロータリー・クラブの多彩な伝統の1つに、小さなバナー、フラッグあるいはベナントの交換があります。ロータリアンが遠くの地方に旅をし、各地で欠席をメイクアップするとき、友愛の印として交換するためのバナーを持参します。多くのクラブではその貰った装飾用のバナーをクラブ例会や地区の行事で興味を 引き付ける展示品として使用します。

国際ロータリー理事会は、このバナー交換の人気上昇をすでに 1959 年には認めており、その所属する地域社会や国がはっきり表現されるよう、そのバナーのデザインに慎重な考慮を払うよう提唱しました。バナーにはそのクラブの領域を表示している絵やスローガンやデザインを含めることが勧められています。

理事会ではバナー交換が財政上の負担となるクラブもあることに心を配っております。特に人気のある地域だと多数の訪問者がバナーを用意して来て交換を要請します。すべての場合において、クラブはバナーの交換には良識を働かせて、この財政的な負担のためにクラブ本来の奉仕活動に支障を来さないように注意すべきです。

バナーの交換はたいへん楽しい習慣です。独創的で芸術的なバナーがその地域社会の自慢の種についての面白い話を語っているときは特にそうです。バナーの交換はロータリーの1つの重要な伝統であり、私達の国際的な交友を顕示するシンボルの役も果たしているのです。